【洞くつの先に】を読んで

　　　　　　　　　　　　　三姉妹　竹子

　この本を選んだのは、冒険が大好きだからです。それに、友だちがすすめてくれたので読んでみることにしました。表の絵もとてもすてきで、すぐに読みたくなりました。お話の中で主人公がどうやって問題をのりこえていくのか、とても楽しみでした。特に、友だちとの友情や勇気について学べると書いてあったので、心がわくわくしました。
　この本は、主人公の太郎が宝物をさがす冒険に出かけるお話です。太郎は、古い地図を見つけて、友だちといっしょに旅に出ます。と中であぶない森を通ったり、ふしぎなくらいどうくつをたんけんしたりします。太郎と友だちはたくさんの問題にぶつかりますが、協力してのりこえていきます。とくに、友だちが危ない目にあったとき、太郎が勇気を出して助けに行くシーンが強く心にのこっています。

最後には、宝物を見つけるだけでなく、大切な友情も手に入れることができました。この冒険を通じて、太郎は成長し、友達とのつながりもどんどん強くなっていきました。

太郎が大きな問題をのりこえる場面でとてもびっくりしました。特に、友だちが洞くつの奥に入って危ない目にあったときに、太郎が勇気を出して助けに行くシーンで、こわいはずなのに友達のためにここまでできてすごいなと思いました。「友だちを見すてるわけにはいかない！」というセリフが心に残りました。私もこんな風に友だちを大切にして、ちょっとこわいなと思うことだったとしても、友だちを助けることができるような勇気を持ちたいと思いました。

また、お話の中で太郎は友だちのことを、友だちも太郎のことを大切だと思って力を合わせていました。友情というものがあると、こわいことや大きな問題がおこっても、勇気を出して力をあわせることができるということがわかりました。

話の中にあった、「友だちと協力することで、どんな問題も乗り越えられる！」というメッセージはとても心に残っています。それに、太郎は自分の弱いところをわかっていて、恥ずかしいと思わずに弱いところを直そうとするところもすごいなあと思いました。暗くてこわいところがいやだった太郎が、勇気をだして友だちを助けるために進んでいくところを読んで、自分も同じように友だちが大変だったら、勇気を持って助けたいと思いました。
　この本を読んで、あきらめずにやってみることの大切さを学びました。これからは、どんな大変そうな問題が目の前にあっても、友達と協力して乗り越えるために頑張りたいと思います。また、友情というものの大切さがわかったので、友だちをもっと大切にしようと思いました。さらに、自分の弱いところも悪いことではないと思うようにして、それをのりこえる勇気を持つことが大切だということを学びました。このことを、毎日の生活でも考えて、自分の弱いところを強いところに変えていけるように頑張っていきたいと思いました。